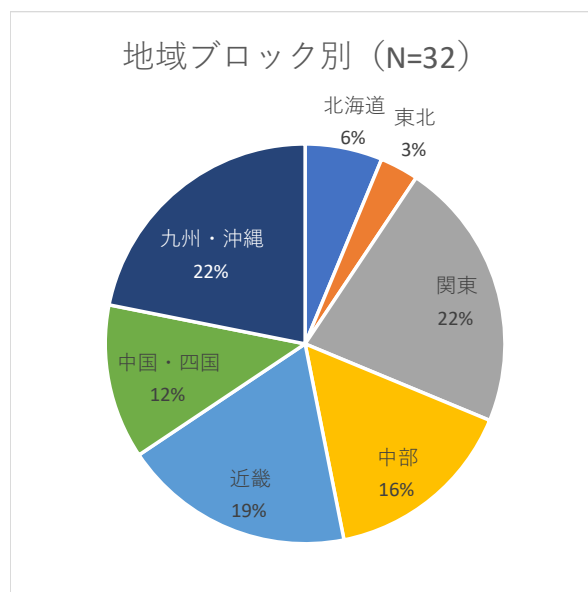
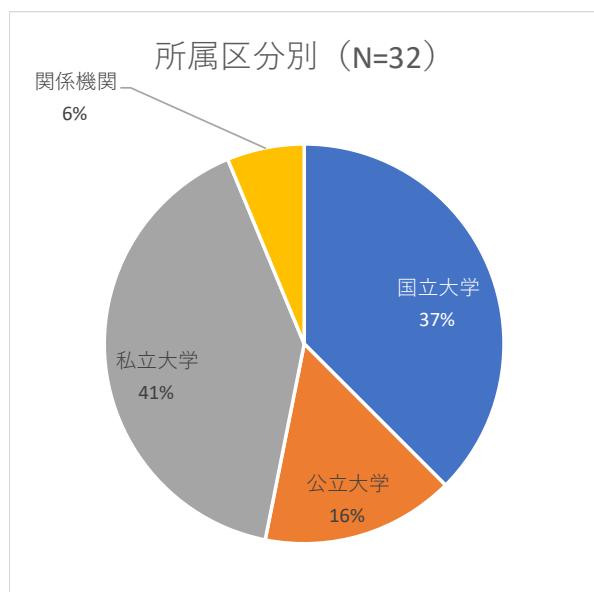
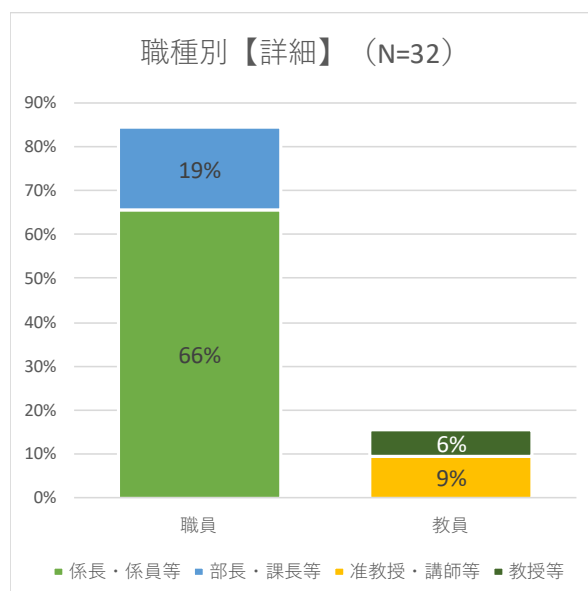
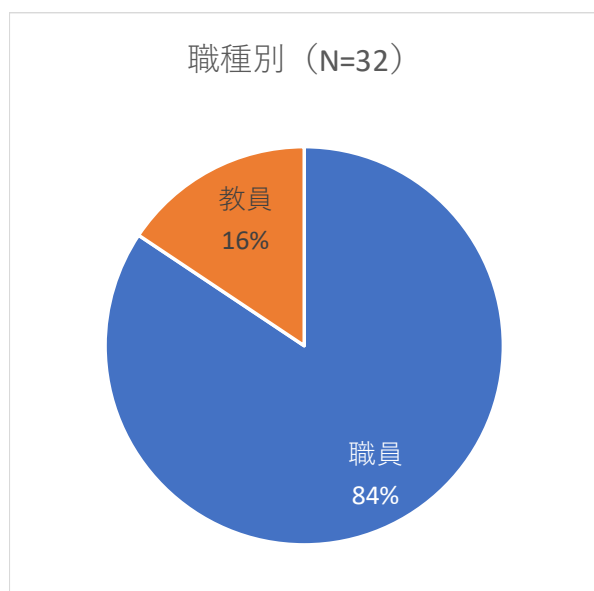


## ○ 参加者について

2日目（8月23日午後）に開催した「初歩的な統計講座〔演習編〕」には、計32名が参加しました。参加者の属性分析は、申し込み時に参加者からご提供頂いた所属や職種等の情報に基づき行いました。なお、「参加者」とは、国公立大学及び関係機関の「通常会員」であり、運営スタッフである「幹事」及び「運営協力者等」の4名を含んでいます。

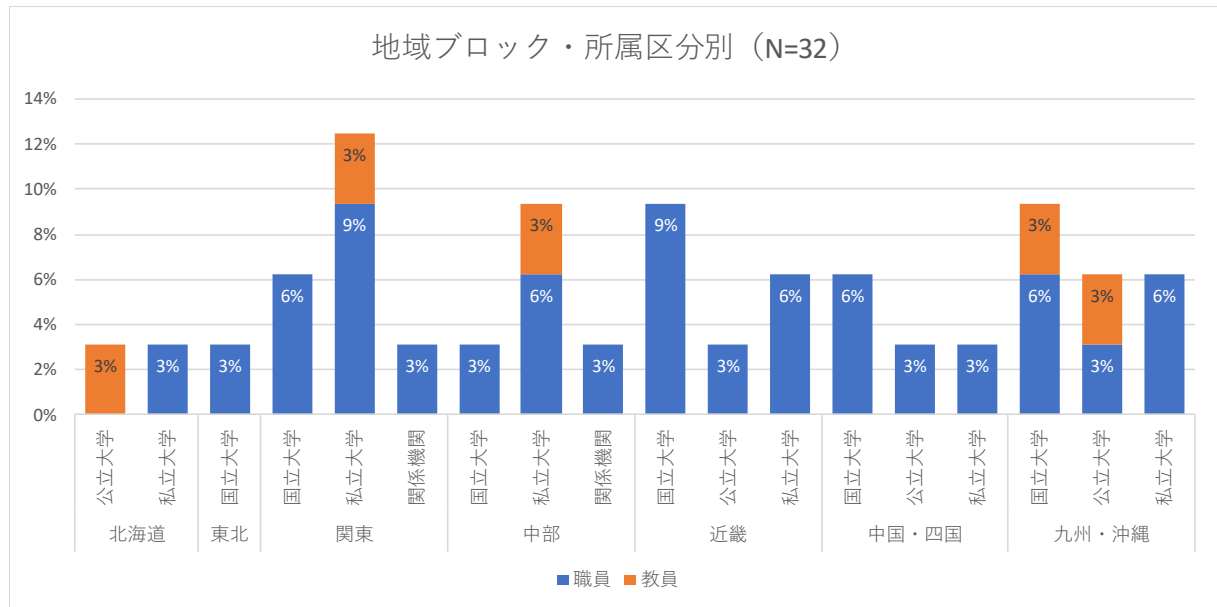
職種別の参加比率では、職員が84%（前年度85%で1ポイント減）を占めており、教員が16%でした。また、職員の職層を「部長・課長等」及び「係長・係員等」、教員の職層を「教授等」及び「准教授・講師等」に分けて示すと、職員の係長・係員等が66%（前年度74%で8ポイント減）と最も多く、次いで職員の部長・課長等が19%（前年度11%で8ポイント増）でした。

所属区分別では、私立大学が41%（前年度30%で11ポイント増）、国立大学が37%（前年度48%で11ポイント減）でした。



地域ブロック別では、関東及び九州沖縄地方が 22%、近畿地方が 19%でした。他地方の参加比率もほぼ同程度あることから、概ね全国の大学から参加していることが伺えます。

地域ブロック・所属区分別と職種別をあわせて確認すると、関東地方の私立大学の教職員が 12%と最も多く、次いで中部地方の私立大学の教職員、近畿地方の国立大学の職員及び九州・沖縄地方の国立大学の教職員が 9%でした。



(大野 [鳥取大])

■区分表（共通）

地域ブロック	説明
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、三重県、滋賀県、和歌山県
中国・四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
その他	米国

職種	職種区分	説明
職員	部長・課長等	部長、課長、課長補佐、副課長、専門員、グループ長、グループリーダー、総括主査、事務長、室長、次長、部長、参事、副参事、など
	係長・係員等	係長、主任、主査、主事、専門職員、課員、係員、チーム員、職員、スタッフ、所員、特任研究員、など
教員	教授等	学長、副学長、学長補佐、部局長、教授、など
	准教授・講師等	准教授、講師、助教、など